

第 190 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 29 年 9 月 12 日(火) 開催 会場: 岩崎学園(新横浜 1 号館 8 階)】

1. アタカプランニング株式会社 代表者 古河 正己 氏 (<http://www.a-gogo.jp/>)

【住所】神奈川県小田原市板橋 625 【設立】1995 年 8 月 【資本金】10,000 千円

【事業概要】中小企業の売上(利益率・客数)アップに特化したソリューションサービス
 初期調査と改善後の指導を加えたことにより、投資回収率 97.5%→100%へ改善
 日本一安全で確実な事業改善サービス
 ターゲットを定め、そのターゲットの嗜好・目線で事業を再構築し、ニーズを顕在化する
 大手企業のブランディングを中小企業に利用しやすいボリュームで提供する
 サービス提供後、5年10年経っても売上がアップし続けている事業も多い

【コメント】古河社長は「アナログマーケットを面白くしないと日本は良くならない。そのためには売上アップや新規客増を促す指導・改革が必須だ」とお考えになられて、『黒字化計画』という最強の支援システムを考案されたそうです。商品が良ければ売れるというのは誤認識で、売上が高まる要素は『事業デザインの魅力』、『商品本来の魅力』、『利便性』の3つ。将来的には IPO も視野に入れておられるそうです。

2. 株式会社ジェイアーク 代表者 青木 英憲 氏 (<http://www.j-aok.jp>)

【住所】神奈川県横浜市瀬谷区二ツ橋町 318 番地 5 【設立】1997 年 5 月 【資本金】60,625 千円

【事業概要】①事業概要:主として通所介護施設(直営 2ヶ所、FC12ヶ所)の事業を行っている。
 ②特色:介護職にリハビリ士の認定資格を取得させ、高齢者の自立支援において効果の有る独自の「包括自立支援プログラム」(運動器ケア・口腔ケア・栄養ケア・排泄ケア・リフレケアを総合的に行うプログラム)によって利用者の ADL(日常生活動作)の維持改善を推進している。
 ③今後の展開:「AI活用通所介護支援システム」の開発を行い、ケアプランから自動的に介護計画書を作成できるシステムを開発し事業拡大を目指す。

【コメント】自立支援介護専門職『リハビリ士』はワンランク上の自立支援が出来る介護のスペシャリストと言えます。リハビリ士が施設にもたらすメリットとしては高齢者の ADL の維持・改善率を 90%以上にすることが出来ることです。同社が目指すところは「人」と「AI」のハイブリット企業で、将来的には IPO も視野に入れておられるそうです。

3. 株式会社アクティブ アンド カンパニー 代表者 大野 順也 氏 (<http://www.aand.co.jp/>)

【住所】東京都千代田区九段南3-8-11 飛栄九段ビル5F 【設立】2006年 1月

【資本金】16,000千円

【事業概要】当社はこれまで、組織・人事領域におけるワンストップソリューションの体制を構築してきた。今後の展開として、2017年7月に、HRオートメーションシステムをリリース。これまで人事情報は、財務&営業情報と異なり、情報が蓄積されることが少なかった。そのため、属人的管理(記憶&感覚)に頼るしかなく、経営戦略に継続的に活かされることがほぼなかった。7月リリース予定のHRオートメーションシステムは、人事の取り組みを通して得た情報を電子データとして蓄積し、組織・人事・人材に関する経営戦略の立案と実行を支援する、クラウド型人事管理システムである。ビッグデータ及び AI の潮流に乗るべく、2010年度より当社が展開してきた人事管理システム(現 AMS+)のフルリニューアルバージョン。今後、HR テック(人事×IT)領域へ展開し、新しい領域を確立する。そして来期以降、これまでのアナログサービスにデジタルソリューションを加えることにより、ハイブリッド型の人事ソリューション事業へと発展させていく。

【コメント】人事データの電子化は最も遅れているようで、同社のシステムは従来の業務を 80%も削減することが出来るそうです。大野社長は「今後、AI を搭載していくことで業界の中で唯一自動化に踏み切ることが出来る」とおっしゃっておられました。従業員 100 名以下の企業はなかなかクライアントにはなりにくいので皆様からのご紹介を希望されておられました。



4. 株式会社パルソラ 代表者 三宅 克 氏

【住所】東京都千代田区神保町 2-13 神保町藤和ビル 【設立】2015 年 1 月

【資本金】50,500 千円

【事業概要】電子書籍の出版・販売。紙媒体のコンテンツをそのままの電子媒体にしたのではなく、スマートフォンに特化した読者指向の独自フォーマットでのコンテンツ制作と投稿プラットフォームを活用した次世代 UGC サービスの提供。

【コメント】三宅社長はもともと出版会社のご出身。有名コミックの出版を手掛けた豊富なご経験をお持ち。同社ではスマートフォンに最適化したモデルとして『コミックノベル(絵と文章がコラボ)』を開発。特徴としては、①見やすい、②サクサク読める、③隙間時間でも楽しめること。古典文学や TV ドラマ、落語などの様々な分野でもコミックノベル化出来るので、将来的には海外展開していきたいとおっしゃっておられました。



《感想》

今回も様々な分野の企業に御発表頂きました。最近では特に AI を活用していく企業が増えていように思います。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 191 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時:平成 29 年 10 月 10 日(火) 13:30~16:00
 (発表後、交流会)

■会 場:学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階
 (横浜市港北区新横浜 2-4-10)

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA

TEL : 045-470-8668

(株)TNP パートナース

(株)TNP オンザロード

TEL : 045-470-8088 井 汲